



2022 NOVEMBER Vol. 764

11 THE RACING PIGEON

レース鳩

令和4年度 協会タイトル特集 第4弾!

- ・第10回 ブロックチャンピオン賞受賞鳩舎紹介!
 - ・第33回 レース鳩帰還率賞 全国ベストテン発表!
- 日本鳩レース協会作出鳩 誌上オークション 第1弾



22年度 伊賀国際鳩舎 国際親善鳩レース大会 400K 46羽中4位
国際ウィナーレース 300K 127羽中6位
国際サクセスレース 200K 181羽中8位

“加古川丸” 21XB05314 BC ♂ 岸本柳平鳩舎(兵庫県連盟・社連合会)作出・委託
*“ハリー”(WHZB長距離Nエースビジョン賞1位)の曾孫、“ゴールデンレディ”重近親の直仔

紙の鳩

これぞブラッドスポーツの神髄！ 3レース連続シングル入賞の超天才鳩！

22年度伊賀国際鳩舎・国際サクセス、国際ウイナー、国際親善
3レース連続シングル入賞！ 岸本柳平鳩舎（社連合会）

ブラッドスポーツのセオリーで
“天賦の才を見事に開花！”

伊賀国際鳩舎シリーズは、風向き
の劇的な変化が起きる山越え、それ
に伴う“猛禽類”の襲撃が必至である
ため、国内のみならず世界的に見て
も難易度は非常に高いと言えよう。
過酷すぎるレース環境、かつ管理統
一の中で何度も上位入賞を果たせる
レーサーは、高い飛翔能力は当然の

こととして、前述のアクシデントに
対応できるメンタル、あるいは襲撃
による危険察知能力が“天賦の才”と
して備わっているとみて過言では
ない。現代の環境に適應できるま
しく、レース鳩の理想形”というわけ
だが、今シーズンの伊賀国際鳩舎に
おいて“3レース連続シングル”とい
う離れ業を演出したスーパード
2羽誕生した。いずれも春の200
K、300K、400Kにおいて果た

されたもので、岸本柳平鳩舎作・委
託の「21XB05314」が入賞率、
合計順位の両視点において、もう1
羽を上回っており、もしこの3レー
スを対象とした「アペレージ賞」が
あったら1位といったところ。見
方によっては、今年における伊賀国
際鳩舎ナンバワンのレーサーだ。
岸本鳩舎の地元にあやかっ
古川丸」と名付けられたこのス
パーは、現在、ヨーロッパ、日本

×「グランボー」全姉）まで見れば、
なんと6重近親だ。遺伝学に沿っ
た配合式、APの塊のような素材
からして、「加古川丸」はブラッド
スポーツの神髄を見事に体現して
いる。

また後者の母「クリス・ハリー」
はもろろんのこと、父親である「ハ
リー」の直仔——「ダーティー・ハ
リー」自身もなんと岸本鳩舎が種
鳩として所有。同鳩舎は他にファ
ンダイクの代表鳩「ディカプリオ」
や「オリンピックニールス」、プロ
キャンプの「ユーロダイヤモンド」、
バーデンブルフの代表鳩「ニュー
ヴィットバイク」といった世界的
超銘鳩の直仔を揃えている（※17
年4月号参照）上、昨年兵庫県連盟
のGNで史上初となる実距離10
00K超を当日で帰還したレジェ
ンド「つむじ風号（現・スーパ
ーチャンプ）」の直仔のみならず、そ
の母方祖母で「ド・019」重近親
の「10DA06849」までスタツ
フに迎え入れており、充実ぶりは
地元鳩界トップクラスだ。ゆえに
岸本鳩舎は19年に地区GNを制し、
2年連続「虎杖浜」からのGNで記
録と、短いキャリアで華々しい戦
果を残している。そして、「才能」
だけで競われるワンフロトレ
ス、しかも世界で最も過酷な伊賀
シリーズで3連続シングルとい
うスーパージニアス（超天才）ま
でも生み出した。岸本鳩舎のコロ
ニーは、素材通りに全国レベルに
到達していると言えよう。



新星・岸本柳平鳩舎（左から2人目）へ祝福のコメント

★竹垣 悟氏（姫路・左）岸本さんが鳩レースを始められた時は、世界的超銘鳩の直仔を種鳩に揃えた“ものすごい新人”が現れたな——と記憶しています。今回、揃えた銘血の中から伊賀で3回シングルのレーサーが生まれました。本能的に“もう1回”行こうつもりだったようですが、これだけの結果を残したトリを作るとはほぼ不可能です。種として残して正解だと思います。岸本さん自身、勝負師ですし、今1番勢いに乗っている井上和夫さんとも親交が深い。地元のレースのみならず、全国的に活躍し、年齢的にも若いので次世代のリーダーとして牽引してくれることを期待しています

★井上和夫氏（しらさぎ東・左から3人目）「この“加古川丸”を含めて岸本鳩舎の委託鳩は10日間くらい当鳩舎で餌付けをしたので、今回の成果はちょっとうれしいです。私も委託したくなりましたね。シングル3回の“加古川丸”は、彼の選手、種ひっくりめてナンバーワンの鳩質だと思います。掴んだ時の感觸——掌の取まり感がものすごく良かったので。ポテンシャル的に彼はもっと強くなると期待しています。そのためにもっとと努力してほしいところですが、ぜひGNといった大きいレースで総合優勝して下さい！
*写真1番右は、竹垣編次夫人（名義）

22年度 伊賀国際鳩舎3レース連続シングル入賞！

“加古川丸” 21XB05314 BC ♂ 岸本柳平鳩舎作・委託
全兄弟 / 21年桜花賞900K総合15位、20年春Pg400K総合6位
→ 15DA08495 (※78頁参照) B 大野 清作 現・岸本柳平鳩舎種鳩
→ 14OB04277 BP 大野作
“はやぶさ”(10年千葉フロック連盟GP総合優勝)の父×
上記“はやぶさ”(“G.CHグッドモーニング”の孫)の娘
→ 13KA07878 B 大野作 当麻使博 JC総合152位 同腹/JC総合47位
“CHEースクイン”の直仔×上記“はやぶさ”の全姉 異母兄弟/13年東日本CH総合優勝
→ “クリス・ハリー” DV08897-12-148 BC SG.スタフィー作
岸本柳平鳩舎代表種鳩 直仔/15年426K2位(トップとは10秒差)
→ “ダーティー・ハリー” (※78頁参照) NL10-1864707 B
ヤン・ホーイマンズ作 岸本柳平鳩舎代表種鳩 直仔/15年最優秀若鳩、888羽中優勝
“クライネ・ディルク”(“ゴールデンレディ”の直仔)の孫×孫
→ “ハリー” (WHZB長距離ナショナルAP賞1位) ×
“ド・900”(ファンデナベール作羽の“ナプチュナス”の直仔×“ハリー”の母)
→ NL10-1109881 BC コーブマン作 “ゴールデンレディ”の4重近親
“カシウス”(若鳩ワールドCH5位の“クライネ・ディルク”×全妹の“アンネリーズ”)×
上記“アンネリーズ”(万羽レース優勝1回、2位2回)の孫

で大旋風を巻き起こしている世界的超銘鳩“ハリー”の血が流れる。全兄弟にCHを生み出した期待の配合である一方で両親ともに重近親鳩であり、メンデルの法則でいう“二代雑種”に限りなく近い。父親は超長距離CHの最高賞の1つ“G.C.H”の認定を受けた“グッドモーニング号”の3重近親、前述の“ハリー”の孫にあたる母親は、コイブマンの最高CHの1羽“クライネ・ディルク”の3重、その親である“ゴールデンレディ”(※ファンダイクの“カニボール